

2012年
新春号

No.12

北九州市議会議員

大久保むが 市政レポート



迎春

旧年中はあたたかいご指導・激励を賜り心から感謝申し上げます。

昨年は東日本大震災が発生し、日本中がまさに国難といえる大変厳しい状況に置かれた一年間だったのではないのでしょうか。原子力発電所の事故の影響で食の安全、日々の省エネ、今でも避難を余儀なくされておられる方々の状況を考えると、本市としても今後さらなる支援の輪を広げていく取り組みを続けていかねばと考えます。

本市では昨年2月に北橋市長が2期目を迎え、長期計画「元気発信！北九州」プランを着実に実行へと移して参りました。また日本での環境先進地としてこれまで取り組んできた様々な事業が高く評価され、政府から「環境未来都市」と「グリーンアジア国際戦略総合特区」の認定を受けることができました。

特に総合特区については、日本にとって画期的な規制緩和と優遇措置が期待でき、本市活性化の切り札として大きく期待できます。今後はこの「環境未来都市」と「グリーンアジア国際戦略総合特区」を活用して、本市への活発な投資や企業の進出が期待できるだけでなく、技術の集積によって、環境分野での国際貢献なども活発になると考えられます。この特区制度を活かしていくのはまさに私たち市民であり、議会であります。本年も全力疾走、無我夢中で頑張って参ります。引き続きまして皆様のご指導、ご意見を賜りますようお願い申し上げます。



12月議会 補正予算

平成23年度12月度議会（11月29日～12月7日）が開催されました。

今議会は、11月末に東芝北九州工場の突然の撤退発表があった直後ということもあり、議会でもそれについての影響を心配する質問や、工場閉鎖の撤回を求める決議などがなされました。

また、11月26日に小倉北区で発生した建設会社役員が何者かに銃撃され殺害された事件を受け、12月5日には緊急の暴力

追放決起大会なども開かれ、今議会は緊張感に包まれた中での開催となりました。

補正予算は一般会計で約73億332万円となりました。このうち耐震補強の実施として、市内29の小中学校の耐震補強に25億9,000万円を計上しています。また、橋梁の耐震補強にも5億円が計上されました。市の施設などは徐々に老朽化しているものも多く、今後このように長寿命化を念頭に置いた設備の更新や改修などが行われていくことが考えられます。

さらにコムシティの改修事業の設計に関する費用として1億8,000万円が計上されました。これはコムシティ再生計画に基づき八幡西区役所などの広域行政サービス機能や、人づくり支援機能を入居に際しての大きな改修が必要なため、その設計費用を計上したものです。

【平成23年12月度補正予算】

一般会計	73億332万円
普通特別会計	1100万円
総額	73億1432万円

【主な事業（一部）】

学校施設の耐震補強	20億9000万円	市内29の小中学校の耐震補強工事
橋梁の耐震補強	5億円	市内8つの橋梁の耐震補強工事
安心・安全なまちづくりの推進	6億7788万円	紫川他4河川の護岸整備や、黒崎6号線ほか3路線の交差点改良
学校給食調理業務民間委託事業	5億2200万円 (債務負担行為)	新たに民間委託を実施する小学校12校の調理委託契約
パソコン整備事業	14億円 (債務負担行為)	

一般質問にのぞむ 平成23年12月

大規模災害発生時の本市の対応について

大久保

本年7月1日に発足された地域防災計画見直し検討会において、どのような議論が行われているのか、また釜石市などで行われた支援活動を通して得られた、経験や教訓について、本市の地域防災計画へ反映させていくべきと考えますが、見解を伺います。

また発生が心配されている東海、東南海、南海地震が連動して発生した場合、平成15年に行なわれた中央防災会議の試算では、死者約2万5千人、経済損失が約53兆から81兆円と想定されています。大規模地震の発生に伴い、本市の産業・経済などに与える影響を調査した上で、想定されることを研究しておき、対策を考慮しておくべきと考えます。見解を伺います。

市長

本市の地域防災計画見直しの検討会では地震、津波、土砂災害などに関する専門家の視点に加え、市民目線での議論を重視し、地域福祉、障害者支援などに携わる市民の方に委員の就任をお願いし、それぞれの立場から幅広いご意見をいただいています。

長期化する避難生活においては、避難者個々のニーズの把握や、避難者主体の避難所運営組織と行政との連携の重要性、特に、高齢者の健康状態の悪化に対する、早期対応の必要性など、実際に職員が現地での支援に携わったからこそ把握できる課題の報告を受けています。今後の地域防災計画の見直しは、このような支援活動での経験なども十分に反映し、市民の皆様にも広くご意見を伺い、情報伝達、避難所運営、防災教育などについては、今年度中に行うこととしています。

また地元企業への影響を把握するため、震災直後に、商工会議所と合同で会員企業1,000社に対する影



響調査を行った結果、震災の影響を受けている企業及びその後影響が懸念される企業は、全体で71.4%でした。

仕入先企業の被災による原材料・部品・商品等の調達難・納期遅れ、売上減少、さらには納入先企業の被災による売上・生産の減少などとなっています。

仮に、今後、三連動地震を始めとする大規模震災が発生した場合におきましても、こうした影響が出るものというふうを考えています。

今後、大規模地震が発生した場合、被害を受ける企業に対する支援は、今回の経験を踏まえまして、相談窓口の設置や資金支援などの支援策をより迅速に行っていくことで、支援に努めてまいりたいと考えております。

夏場における小中学校の教室の暑さ対策について

大久保

これまで議会において「教室にエアコンを」という質問が幾度もなされてきました。

議論をはじめてから既に4年が過ぎようとしており一刻も早い結論を求めます。

本市すべての小中学校の普通教室は約2600室あり、エアコン設置を行なう場合、購入と設置費として約84億円、そして電気代などの維持費として年約2億円が見込まれています。教室全てにエアコンを導入することは、財政面を考慮すると厳しいことも理解できます。しかしこれまで長い間議論されてきましたが、このまま国の補助率が引き上げられる目処も立たない、検討自体が進まないとは言っても、今後もこの暑さの中で苦勞をしなければならぬのは学校に通う児童・生徒達であり、方向性が決まるまでの間、暫定措置として、扇風機の設置を検討してはと考えますが、見解をお伺います。

市長

教室の暑さ対策としてのエアコン設置については、北九州市PTA協議会との意見交換会や小中学校校長会との意見交換会の中で、毎回、要望されています。

教育委員会としては、教室の暑さ対策は、喫緊の課題であると認識をしており、エアコンの設置については、これまで検討を重ねてきましたが、初期投資として多額の費用が必要となること、稼働させる時期に長

期の夏休みがあること、などから、現段階で教室にエアコンを設置することは困難であると、PTAや校長会に対して説明を行ってまいりました。

ご指摘のように、昨年から今年にかけて、夏季の普通教室は30℃を超える日が多く、最高気温も35℃以上になる日もあり、教室は暑い状況にあるとは認識をしています。

また、今後も地球温暖化の影響で、夏季の教室は、厳しい暑さが続く可能性もあります。

そこで、ご提案の扇風機の設置につきましては、児童生徒が安全で安心して学校生活を送る上で、少しでも快適に学習できる環境を整えていくための一つの方法であるとは考えています。しかしながら、設置の効果、安全性、授業への影響などの課題もありますので、他都市の情報収集するとともに、学校現場の意見も聞きながら検討していきたいと考えています。



NPO法と市民公益税制の改正について

大久保

今回のNPO法などの改正で最大のポイントは、税制優遇を受けられるようになる法人格の認証制度の緩和と新寄附税制が盛り込まれたことです。また、事前相談、認証・認定事務や監督の事務が都道府県と政令市で実施されることとなります。そしてもともと税制優遇を受ける認定NPO法人となるには、これまではいわゆるPST(パブリック・サポート・テスト)と呼ばれる、国税庁の厳しい要件をクリアする必要がありました。

今回の法改正では、その認定条件が大幅に緩和され、都道府県や市区町村から条例で個別指定をすることができるなど、地方自治体に独自の裁量が設けられているというのが最大の特徴です。また最初の2年間は仮認定により、認定と同様の税制優遇が受けられる制度の導入等

もなされました。このような流れのなかで、認定取得を目指すNPOが増加することが予想されます。

新しい改正NPO法における、本市の認証・認定の取り組み、及び法改正による効果などについて、どのような見解をお持ちか伺います。

市長

本市ではこの度の法改正を受け、来年の4月から、NPOが法人格を得るための認証の手続きと、公共性の高い活動を行うNPO法人へ寄附した人が税金の控除を受けられ

る、いわゆる「認定NPO法人」の認定の手続きに新たに取り組むこととしています。

このため、相談等の窓口となります「市民活動サポートセンター」の充実や情報提供を行いますホームページの拡充などに取組むこと、また新たに法人を設立する際にきめ細かなアドバイスをを行うこと、市内の多くのNPO法人が、「認定NPO法人」の資格を取得できるよう、専門的な相談体制を整備することなどに努めることとしています。

今回の法改正では、「認定NPO法人」となるための要件が、大きく緩和されていることが一つの特徴です。その効果としては、NPO法人の活動資金が集めやすくなり、活動の活発化が期待できることなどがあげられます。

今後、一連の事務を通しまして、NPOの活動や運営の実態に即した支援を行うことで、新たな公共を支えるNPOの育成につなげていきたいと考えています。

コムシティの再生計画

昨年12月16日、北九州市はコムシティの再生計画を発表しました。

施設は「人づくり支援機能」「広域行政サービス機能」「生活利便機能」の3つから構成され、子供の館や市民活動サポートセンター、八幡西区役所、ハローワーク（協議中）、第2夜間・休日急患センター、優良運転者免許更新センター（協議中）などの入居が検討されています。

4階以上には広域行政サービス施設が入居し、3階以下には人づくり支援施設や生活利便施設などを配置することです。

これまで私も議会の中でたびたび提案をして参りましたが、中心市街地に住む

人を増やしていく政策（コンパクトシティ）へ向けての重要な布石となると考えられます。昨年の市政レポートの中でご報告しました、香川県丸亀の商店街の取り組みを参考にしながら、真似をするのではなく北九州市らしい取り組みを、一步一步ではありますが背伸びをせず、現実と向き合った政策を行うよう議会の場から取り組みを進めてまいります。

12月議会 一問一答がスタート

平成23年9月の決算議会において制定された議会基本条例に基づいて今度の12月議会から、一般質問においてはじめて、一問一答制度が部分的にはありますが導入されました。

これまで北九州市の市議会では、一括質問・一括答弁が行われていましたが、長時間にわたる質問と答弁が、市民や傍聴者などには分りにくいという事もあり、一問一答制度の導入が行われました。

今議会では私も一問一答の制度を活用しました。

新しくなった制度では、2回目の質問から一問一答を行うことができるのですが、1回目がこれまでと同様の一括質問・一括答弁であるため、今までとさほど大きな変化がなかったと感じました。

しかし、一問一答は議会での議論をこれまで以上に深めていくことができると考えます。今後の運用のありかたなども含め、これまで以上に議会での議論を高めるよう私たち議員がこの制度を上手く使い、努めていかなければならないと考えます。

平成23年 10・11・12月の活動記録

10月

- 1日 ペシャワール会 報告会
- 2日 サイクルツアー北九州2011
- 4~6日 会派視察（若手県釜石市・宮城県名取市）
- 7日 八幡東・西区合同戦没者追悼式
会派政策審議会会議
黒崎宿場祭り
「新球技場について考える」シンポジウム
- 8日 北九州ホームレス支援機構祭り
「ゴーイングホームデー」
第31回穴生まつり
- 9日 障害者支援施設「ひばりの丘」開所式
- 10日 いたうずの森 ちから祭り
- 11~15日 韓国仁川広域市 公式訪問
- 16日 都市緑化祭
地域秋まつり
北九州ドリームサミット発信会議
- 18日 ギラヴァンツ北九州ホームゲーム観戦
- 20日 市議会会派 団会議
- 21日 総務財政委員会
本城陸上競技場などを視察
- 23日 陸上自衛隊小倉駐屯地50周年記念行事
地域敬老会行事
日中韓障害者の大会
国政・県政・市政報告会
- 25日 北九州水道事業100周年記念式典
- 30日 国政・県政・市政報告会

11月

- 2日 総務財政委員会
- 4日 北九州市公共事業評価委員会
まつり起業祭八幡 開会式
- 5日 国政・県政・市政報告会
- 6日 筑前木屋瀬宿場まつり
- 7日 台日産業連携架け橋説明会
- 8日 八幡西区議員協議会
- 9日 水素エネルギー先端技術展2011
会派政策審議会会議
- 10日 総務財政委員会
有志議員と市議会報告会案内ピラマキ
- 11日 市議会会派 団会議
公共事業評価委員会を傍聴
大都市財政の実態に即応する財源の拡充についての要望（通称：青本要望）勉強会
- 12日 NPO法改正に向けた意見交換会
- 13日 B-1グランプリin姫路 視察
- 14日 大都市財政の実態に即応する財源の拡充についての要望で上京
- 15日 市議会報告会
- 16日 暴力追放福岡県民大会
- 17日 北九州市制50周年記念事業検討委員会を傍聴
- 20日 北九州市障害者芸術祭
八幡西消防団第3分団報告会
市議会報告会
- 21日 市議会会派 団会議
会派政策審議会会議
- 23日 航空自衛隊芦屋基地航空祭
- 24日 八幡西区議員協議会

- 25日 会派政策審議会会議
工場萌え「関門海峡フェリー」乗船ツアー
- 26日 民主党福岡9区総支部常任幹事会
民主党福岡県連大会
- 27日 ギラヴァンツ北九州ホームゲーム最終戦
- 28日 会派政策審議会会議
- 29日 12月議会開会 本会議
- 30日 本会議 一般質問

12月

- 1日 一般質問
- 2日 一般質問
- 3日 八幡西消防団反省会
- 4日 第14回北九州市手話フェスティバル
- 5日 12月議会 常任委員会
北九州市民緊急暴力追放決起大会
- 6日 12月議会 常任委員会
ギラヴァンツ北九州 選手との懇親会
- 7日 本会議 12月議会閉会
- 10日 民主党福岡9区総支部常任幹事会
民主党福岡9区総支部 定期大会
- 11日 地域グラウンドゴルフ大会
- 13日 市議会会派 団会議
- 15日 市議会会派 団会議
市長へ予算に関わる政策要望
- 18日 環境首都検定
- 20日 市議会会派 団会議
- 22日 民主党福岡県連 会議
- 23日 地域グラウンドゴルフ
- 25日 民主党福岡県連 会議

北九州はなに色？

「北九州市の認知度に関するアンケート調査」

本市が大都市圏での認知度やイメージを把握するために行われている、「北九州市の認知度に関するアンケート調査」の結果が発表されました。

北九州市をひとことで表現すると？

工業都市	47.1% (49.1%)
環境都市	17.5% (7.0%)
物流・港湾都市	13.9% (12.4%)
鉄冷えの街	9.7% (11.1%)
アジアの玄関	8.6% (4.7%)

北九州市を色にとえたら何色？

青	26.9% (32.0%)
緑	26.0% (8.0%)
灰色	21.6% (28.9%)
赤	8.0% (5.4%)
黒	3.6% (6.5%)

※()内は前回

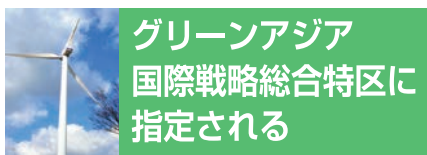
この調査は平成12年、平成18年と行われ、今回で3回目です。調査対象は関東や関西など大都市圏に住むメディア関係者などで、約900人に郵送で実施し、41%の方からの回答があったとのこと。調査では「工業都市」というイメージがいまだに強く残っているものの、環境都市としてのイメージも確実に上昇しています。同様に市を連想する色も、緑が灰色を抜き2位となっています。グリーンアジア国際戦略総合特区などに認定されたことで今後さらに環境都市としてのイメージが上昇していくことが期待できます。結果は市のホームページからも見るすることができます。

北九州市(の観光)について知っているものは？

関門橋	73.1% (80.6%)
スペースワールド	61.5% (66.4%)
門司港レトロ	60.9% (60.5%)
小倉城	46.8% (50.6%)
若戸大橋	41.8% (50.1%)

住んでみたい都市は？

①神戸	33.2% (33.9%)
②京都	29.6% (27.6%)
③札幌	29.1% (26.9%)
④横浜	23.5% (22.2%)
③福岡	21.9% (22.7%)
く	
⑨北九州	7.2% (5.9%)



グリーンアジア
国際戦略総合特区に
指定される

世界の環境首都を目指す北九州市は、平成23年12月22日、政府からグリーンアジア国際戦略総合特区へ指定されました。国際総合戦略特区は、平成22年に閣議決定された21の国家プロジェクトの1つで、指定された地域の規制・制度の特例や、税制・財政・金融などの

支援を受けられるものです。

本市では長年にわたり培ってきたエネルギー、上下水道などの都市環境インフラとノウハウをセットにしてアジアなどの諸都市へと進出し、アジアの活力を国内へ取り込むための国内における最前線都市として位置付けられるほか、これまでの特区と違い、本格的に規制緩和や財政支援が期待できることから、特区制度の活用により国内技術や環境を軸とした産業の集積、人の交流や物流の拡大などが大きく期待できます。



北九州市議会議員 大久保むが プロフィール



- 生年月日 昭和50年11月22日 現在36歳
- 血液型 A型
- 星座 さそり座
- 趣味 ピアノ ギター 釣り 映画鑑賞 など
- 身長 171cm
- 体重 73kg
- 好きな言葉 少年老い易く学成りがたし
- 好きな芸能人 山崎まさよし
- 尊敬する人 坂本龍馬
- 好きな食べ物 スパゲティ カレー (自分で作る)

経歴
枝光小学校・枝光北中学校(現枝光台中学校)・県立北筑高等学校を卒業
平成10年 九州国際大学 国際商学部 卒業
平成12年 北橋健治衆議院議員秘書
平成18年 北九州市立大学 法学研究科(大学院)入学
平成19年 大久保勉参議院議員秘書
平成20年 北九州市立大学 法学研究科 卒業

現在 民主党福岡県第九区総支部 常任幹事
ボランティア団体 KID's work スタッフ

■大久保むが事務所



〒807-0831 北九州市八幡西区則松2-9-2
Tel 093-863-5530 Fax 093-863-5531
http://www.mugamuga.net/
E-mail yahatanishi@mugamuga.net

